

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.advanced-media.co.jp/ir/) に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



株式会社アドバンスト・メディア

証券コード：3773

2019 Interim AMI Report

第22期 中間報告書 2018.04.01～2018.09.30

会社概要 (2018年9月30日現在)

会社名	株式会社アドバンスト・メディア
設立	1997年12月
資本金	68億6,841万円
取引銀行	三井住友銀行、みずほ銀行、他
所在地	本社 〒170-8630 東京都豊島区東池袋3-1-4 サンシャインシティ文化会館6階 Tel:03-5958-1031 (代表) Fax:03-5958-1032
主要連結子会社	AMIVOICE THAI CO., LTD. (タイ王国) 株式会社グラモ 株式会社速記センターつくば AMIVOICE INTERNATIONAL LIMITED (香港) 株式会社Rixio
関連会社 業務提携先	True Voice Company Limited (タイ王国) Multimodal Technologies, LLC. (米国)

昨日のありえないを、明日のあたりまえに。

人と機械が声でつながり、話した言葉が情報としての価値を持つ。
「**AmiVoice®**」が実現するのは、人と機械、
人種や文化さえも超える、まったく新しいコミュニケーションです。
誰も想像さえしなかった未来を、明日のあたりまえとするために。
私たちアドバンスト・メディアの挑戦は、続きます。



連結業績概要

当社のコア技術である「AI音声認識」(AIにより認識精度などが向上した音声認識: AmiVoice®) や「音声AI」(音声認識を含む音声処理を前提としたAI技術: AmiAgent®) が、働き方改革の浸透、労働力人口の減少等から、各企業における生産性向上・業務効率化のニーズにマッチし、その利用が好調に推移いたしました。

売上高

- BSR1 (第一の成長エンジン) は、CTI事業部およびVoXT事業部が堅調に推移し、前年同期比11.3%増となりました。
- BSR2 (第二の成長エンジン) は、ビジネス開発センター、連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD.、グラモが大幅に増収し、前年同期比57.8%増となりました。
- 当社グループ全体では、前年同期比20.5%増となり増収構造を強化することができました。

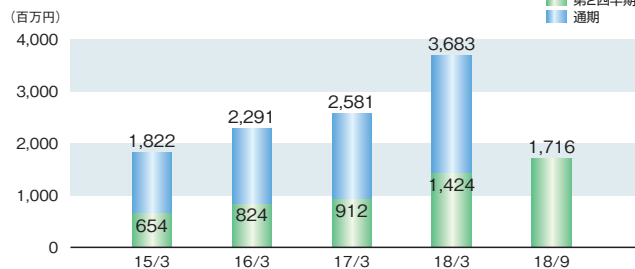
損益

- CTI事業部が前年に引き続いて利益率の高い大型のライセンス収入を得たことに加えて、BSR1 (第一の成長エンジン) の全ての部門で黒字化するとともに、BSR2 (第二の成長エンジン) は前年同期比で赤字幅を縮小させ、収益構造を強化することができました。
- 経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益については、営業外収益として為替差益128百万円を計上したため、大幅な増益となりました。

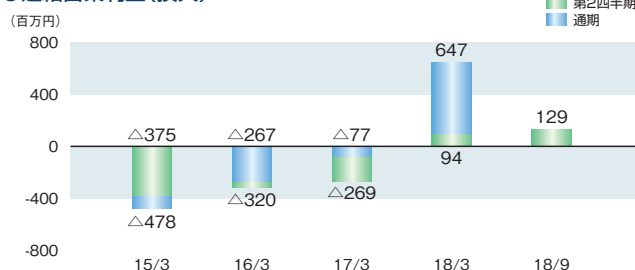
これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,716百万円(前年同期は売上高1,424百万円)、営業利益129百万円(前年同期は営業利益94百万円)、経常利益309百万円(前年同期は経常利益123百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は278百万円(前年同期は純利益122百万円)となりました。

財務ハイライト

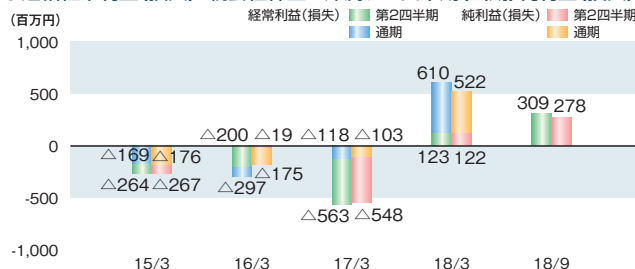
● 連結売上高



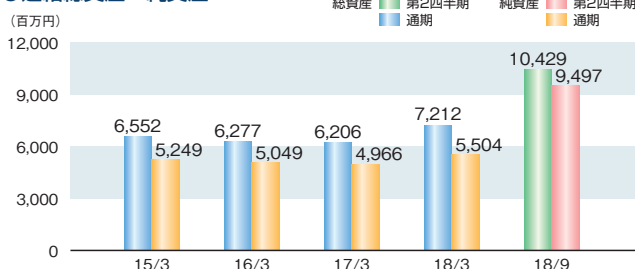
● 連結営業利益(損失)



● 連結経常利益(損失)・親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益(損失)



● 連結総資産・純資産



株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第22期（2019年3月期）中間報告書をお届けいたします。当社事業のご理解の一助となれば幸いです。

当社グループは、「既存コアビジネスのさらなる成長」をBSR1（第一の成長エンジン）、「新規ビジネスの創生・M&A・海外事業」をBSR2（第二の成長エンジン）と位置付け、これら音声認識ビジネスを人工知能（AI）などで価値増幅させたBSR（超音声認識）ビジネスに進化させて、増収増益を継続させることを目指しております。

そのような中、当社のコア技術である「AI音声認識」（AIにより認識精度などが向上した音声認識：AmiVoice®）や「音声AI」（音声認識を含む音声処理を前提としたAI技術：AmiAgent®）が、働き方改革の浸透、労働力人口の減少等から、各企業における生産性向上・業務効率化のニーズにマッチし、その利用が始まってまいりました。

その結果、売上高に関しましては前年同期比20.5%増、営業利益に関しましては前年同期比36.1%増となり、増収増益の継続を行うことができました。

また、アジア圏への事業拡大を行うために、香港にAMIVOICE INTERNATIONAL LIMITEDを設立しました。さらに、「AI音声認識」や「音声AI」を活用し生産性やサービス品質を向上させた人々による新たなビジネス、「AISH（アイッシュ）」（AI Super-Humanizing：AIによるスーパーマン化）ビジネスを推進していくために、株式会社Rixioの全株式を取得いたしました。

これらは、2020年3月期までをBSR導入期、2023年3月期までをBSR展開期、2026年3月期までをBSR拡大期とし、3年間で売上高をそれぞれ2倍（年平均30%増）、営業利益率30%の中長期計画の実現に向けた取り組みのひとつであります。

今後も当社グループ一丸となり、事業価値の増大による企業価値の向上に邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましても、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月
代表取締役会長兼社長
鈴木 清幸

事業拡大の取り組み実績

BSR1（第一の成長エンジン）

成長エンジン ① CTI/STF/医療/VoXT

売上高 1,269百万円
前年同期比 11.3%増

営業利益 全ての部門で
黒字化を実現

BSR2（第二の成長エンジン）

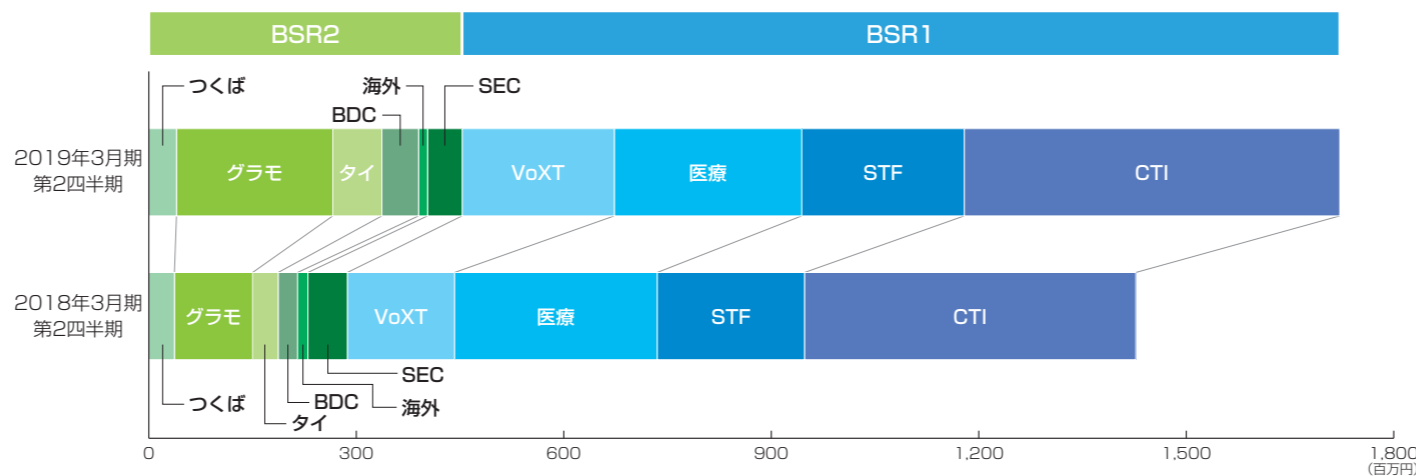
成長エンジン ② SEC/BDC/海外/THAI
グラモ/速記センターつくば

売上高 453百万円
前年同期比 57.8%増

営業利益 赤字幅を大幅に縮小

グループ全体 売上高 20.5%増 営業利益 36.1%増
増収・増益構造の強化を進めた

分野別の売上実績



AMIVOICE THAI CO., LTD.
(タイ王国)
タイ王国における音声認識ソリューションの開発および提供

株式会社グラモ
住宅向け家電制御機器やスマートロック製品等の開発および提供

株式会社速記センターつくば
文字起こし事業および会議録作成

AMIVOICE INTERNATIONAL LIMITED (香港)
アジア圏における音声認識ソリューションの開発および提供

株式会社Rixio
建設業界向け品質検査・内覧顧客対応・内覧会場設営業務等

「AISH」ビジネスの拡大を目的に2018年8月24日子会社化